

# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0279  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1811  
 事務事業番号 00935

進捗区分 評価完了  
 所属長名 鮫島 穰  
 記入者 大田 彬雄

建設部建設監理課  
 放置自転車対策事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	026	交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001	地域公共交通ネットワークの維持・確保				
事務事業	011	放置自転車対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	自転車法及び大津市自転車等の放置防止に関する条例					
事業概要	(事業概要) 「大津市自転車等の放置防止に関する条例」に基づき設定した自転車等の放置禁止区域における『啓発・撤去・返還』業務を民間委託し、駅周辺の放置自転車等をなくし良好な環境及び美観を保持する。大津市道上等の啓発・撤去については、直営及び民間委託で行っている。放置禁止区域・・・小野駅周辺・堅田駅周辺・おごと温泉駅周辺・比叡山坂本駅周辺・唐崎駅周辺・大津京駅周辺・大津駅周辺・膳所駅周辺・石山駅周辺・瀬田駅周辺・びわこ浜大津駅周辺					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) これまでの取り組みの結果、放置自転車の台数は減少傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 放置禁止区域における放置防止啓発作業の適切な人員配置や撤去日数の見直し等の効率化に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	自転車及び原動機付自転車の所有者または利用者
目的(何のために)	公共の施設である駅前広場や大津市道上における自転車・原動機付自転車の放置の防止
手段(どのようなやり方で)	放置防止の『啓発活動』及び、禁止区域や大津市道上の放置自転車等の撤去
成果(どのような状態にするのか)	歩行者等の交通安全の確保及び街並みの美観保持

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,914	16,185	13,872	13,754	13,898	13,898	13,898
事業費	9,179	8,497	8,184	8,066	8,210	8,210	8,210
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	268	239	268	268	268	268	268
一般財源	8,911	8,258	7,916	7,798	7,942	7,942	7,942
人件費計	5,735	7,688	5,688	5,688	5,688	5,688	5,688
事務・技術(人)	0.37	0.62	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0279  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1811 建設部建設監理課  
 事務事業番号 00935 放置自転車対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-40-50-00-02-00	放置自転車対策事業費	都市計画部都市計画課
01-40-20-40-50-00-02-00	放置自転車対策事業費	建設部地域交通政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 啓発台数	台	1,500.00	1,000.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		1,012.00	441.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 撤去台数（違法駐車台数）	台	500.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		377.00	337.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	駅前広場等の安全を守るために市が実施すべきである。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	日々の啓発や撤去作業により、放置自転車等の数は年々減少傾向。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	活動指標・成果指標ともに実績値が横ばいとなりつつある。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	駅周辺の安全と景観は守られている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	これまでの事業活動の成果により放置自転車の啓発及び撤去台数は減少傾向にあり、歩行者等の交通安全の確保及び街並みの美観保持を維持してきた。平成29年度に実施された事業レビューの結果に従い、事業活動の効率化、啓発日数の縮減等を図ってきたが、成果への影響は生じなかった。今後も引き続き、撤去台数の状況に注視しつつ、事業活動を維持していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	年次的に事業活動の効率化を図ってきているが、事業の成果への影響は生じなかったと評価できる。引き続き、効率的な事業活動に努めるとともに、今後の放置自転車への警告、撤去台数等の推移を見極めながら、必要に応じた事業活動を推進していくこと。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0280  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1811 建設部建設監理課  
 事務事業番号 00936 自転車駐車場管理運営事業

所属長名 鮫島 穰  
 記入者 大田 彬雄

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	010 コンパクトで質の高い持続可能なまちにします		
施策	026 交通ネットワークの充実		
取組の方向性	003 道路交通ネットワークの充実		
事務事業	010 自転車駐車場管理運営事業		
新規継続区分	継続		
運営方法	民間委託		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外
根拠法令等	大津市自転車駐車場条例		
事業概要	(事業概要) 市内自転車駐車場 有料施設 17箇所 無料施設 12箇所 有料施設は指定管理者に管理運営委託（有人管理 7：00～20：00）		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、駅近郊の開発等により、南部地域において自転車等の利用が増加している。一方で、北部地域では減少し、利用状況に偏りが見られる。 (見直しや改善等の経過) 収納可能台数増の検討や、指定管理者による機械の一部導入などを行い、利便性の向上に努めた。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	自転車等の所有者又は利用者
目的(何のために)	市民の自転車等利用の利便性の向上及び鉄道駅周辺の駐車秩序の確立並びに都市景観の維持
手段(どのようなやり方で)	自転車駐車場の提供
成果(どのような状態にするのか)	放置自転車等の防止による駅前の適正な環境の維持及び街並みの美観保持

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	219,425	206,659	221,374	186,112	206,712	189,712	192,512
事業費	215,981	201,299	218,014	182,752	203,352	186,352	189,152
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	1,806	32,200	3,700	17,200	2,200	2,200
その他	155,281	177,743	179,388	176,652	178,632	180,612	182,592
一般財源	60,700	21,750	6,426	2,400	7,520	3,540	4,360
人件費計	3,444	5,360	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360
事務・技術(人)	0.42	0.67	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0280  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1811 建設部建設監理課  
 事務事業番号 00936 自転車駐車場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-40-66-00-01-00	自転車駐車場管理運営事業費	都市計画部都市計画課
01-40-20-40-66-00-01-00	自転車駐車場管理運営事業費	建設部地域交通政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値						下段：実績値	
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 利用台数	台	3,770,000.00	3,770,000.00	3,002,000.00	3,126,000.00	3,144,000.00	3,196,560.00	3,249,120.00	
		2,647,542.00	2,799,261.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 料金収入	千円	200,000.00	227,000.00	179,388.00	176,652.00	178,632.00	180,612.00	182,592.00	
		155,281.00	159,679.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	C	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	駅利用者が大半であることから交通事業者が主体で行うべきである			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	利用台数、利用料共に微増傾向である。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	放置自転車数は減少傾向であり、景観を維持できている。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	交通ネットワークの充実に貢献している。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	駅周辺の自転車駐車場の運営により市民の自転車等の利便性の向上を図ってきたが、利用者が増加傾向にあり、利用ニーズに応じられていない状況が一部の自転車駐車場で生じている。特に石山駅周辺の自転車駐車場については、定期利用待ちに対応すべく、収容台数の拡充を図り、引き続き放置自転車等の防止を図るとともに鉄道駅周辺の適正な環境の維持に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	需要の多寡、入出庫の時間帯等の動向を適切に評価し、適宜、計画値を需要の変化に応じて見直すことで現状に照らした管理運営を行えるよう努めること。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0281  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1811  
 事務事業番号 01407

進捗区分 評価完了  
 建設部建設監理課  
 公共駐車場事業

所属長名 鮫島 穰  
 記入者 田中 悠也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	033	社会状況の変化に対応した持続可能な都市経営				
取組の方向性	001	行財政改革と効率的な行財政運営				
事務事業	048	公共駐車場事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市自動車駐車場条例及び同施行規則					

事業概要	(事業概要) 鉄道駅、公共施設及び民間の集客施設周辺の利便性向上を図るために整備した公共駐車場を適正かつ健全に管理運営するとともに、公共交通の利用促進と環境負荷の低減を目的としたパーク&ライド事業を推進することにより、マイカーと公共交通の共存及び持続的な交通ネットワークの構築を図る。また、本市が立地に関与してきた月極駐車場を適正に管理運営することにより、引き続き地域の秩序あるまちづくりを推進する。				
------	---	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近隣において民間駐車場の立地が進み、駅周辺の駐車対策を講じる上で、公共の果たす役割は縮小してきているが、地域の秩序を保つ上で、本市の各駐車場に対する需要は依然として高い。 (見直しや改善等の経過) 地域の経済情勢や駐車場に対する需要の変化を踏まえながら、管理運営の効率化や料金設定の適正化を図り、受益者負担の原則を基本とした運営を続けてきた。				
----------------------	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	マイカー利用者による駅及び各種施設の積極的な利用と地域における社会秩序の維持を				
目的(何のために)	鉄道駅、公共施設及び集客施設の周辺道路における交通の円滑化を図り、公共交通の利用を促進させるほか、地域の社会秩序の維持を図るため				
手段(どのようなやり方で)	一時利用における入庫後最初の30分の駐車料金を無料とするなどの各種利用割引、当日最大料金制の導入、パーク&ライド事業の推進、また月極利用の適正な管理運営により				
成果(どのような状態にするのか)	鉄道駅、公共施設及び集客施設の積極的に利用され、施設利用者の利便性が高まるとともに、公共交通の利用も促進され、秩序ある地域まちづくりが推進される				

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	63,569	144,182	264,846	338,957	122,970	122,853	162,872
事業費	60,617	130,102	250,766	324,877	108,890	108,773	148,792
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	1,900	116,800	180,000	0	0	0
その他	60,617	116,145	119,832	116,833	100,846	100,604	140,748
一般財源	0	12,057	14,134	28,044	8,044	8,169	8,044
人件費計	2,952	14,080	14,080	14,080	14,080	14,080	14,080
事務・技術(人)	0.36	1.76	1.76	1.76	1.76	1.76	1.76
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0281  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1811 建設部建設監理課  
 事務事業番号 01407 公共駐車場事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
27-05-05-05-60-00-04-00	公共駐車場事業費	都市計画部都市計画課
27-05-05-05-60-00-04-00	公共駐車場事業費	建設部地域交通政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値						下段：実績値	
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 利用台数	台	230,000.00	230,000.00	488,190.00	488,190.00	488,190.00	488,190.00	488,190.00	
		221,061.00	502,258.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 料金収入	千円	115,000.00	115,000.00	178,555.00	178,555.00	178,555.00	178,555.00	178,555.00	
		92,727.00	125,520.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	業務に精通した指定管理者により管理運営を行っている。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用が減少している。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	料金収入が減少傾向にあることを踏まえた管理運営をしている。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	公共施設及び公共交通の利用に即した利便性を確保している。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和2年度で施設建設に伴う事業債の償還が終了したことに伴い、需要に応じた運営の効率化とともに、施設の適正化を一層推進させるため、駐車場事業特別会計を廃止し、公共駐車場施設運営事業費として一般会計に移行した。 現下の新型コロナウイルスの感染拡大の影響による公共施設及び公共交通の利用の減少に伴い、公共駐車場の利用者が大幅に減少した令和2年度からは大きく回復したものの、平成31年度以前と比較すると利用者は減少傾向にあり、施設運営についても経費の縮減等、見直しを図っていく必要が生じた。今後の施設利用者の動向を見極めながら、平成30年度に取り纏めた『駐車場のあり方検討方針』に従い適正化を進めており、晴嵐公共駐車場は令和3年度末で休止し、令和4年度の廃止を予定している。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	月極駐車場は、収益状況から当分の間は事業継続するが、今後も損益の見通しを立てながら地域の秩序を確保する必要性について検証を行うこと。また、継続検討するとした公共駐車場（大津京駅前、大津駅北口、膳所駅前）については、運営の効率化に取り組むとともに、行政財産の適正な管理と収益の確保について望ましい保有形態を検討すること。		



# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1811 建設部建設監理課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 01407 公共駐車場事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 利用台数	台	230,000.00	230,000.00	488,190.00	488,190.00	488,190.00	488,190.00	488,190.00
	指標説明	221,061.00 502,258.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						
(成果) 料金収入	千円	115,000.00	115,000.00	178,555.00	178,555.00	178,555.00	178,555.00	178,555.00
	指標説明	92,727.00 125,520.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						

# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0282  
評価年度 令和 3年度  
所属 1801  
事務事業番号 00897

進捗区分 評価完了  
建設部地域交通政策課  
公共輸送対策推進事業

所属長名 高木 悟  
記入者 田中 仁史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	026	交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001	地域公共交通ネットワークの維持・確保				
事務事業	001	公共輸送対策推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律				
事業概要	<p>(事業概要) 大津市地域公共交通活性化協議会が主体となり、令和3年3月策定の「大津市地域公共交通計画」に基づき、既存の公共交通ネットワークの維持及びデマンド型乗合タクシー等の新たな移動手段の確保に向けた施策を推進するとともに、立地適正化計画と連携して、「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりを目指す。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 自家用車の普及により、公共交通（特に路線バス）の利用者数は減少傾向にあり、さらに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、減便や廃止路線が増加していることから、コンパクトなまちづくりと連携した新たな公共交通ネットワークの確保が急務となっている。 (見直しや改善等の経過) 既存の路線バス維持のための支援を行うとともに、地域公共交通課題地域に対しては、地域住民・交通事業者との協働でデマンド型乗合タクシー等の新たな移動手段を確保するための取り組みを進めてきた。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	公共交通事業者、地元交通対策協議会（地域住民）、公共交通利用者
目的(何のために)	既存の公共交通ネットワークの維持及び新たな移動手段の確保を図り、コンパクトなまちづくりと連携した効率的な公共交通ネットワークを構築するため
手段(どのようなやり方で)	大津市地域公共交通活性化協議会が事業主体となって様々な活性化施策を推進することにより
成果(どのような状態にするのか)	さらに安全で快適な公共交通ネットワークが形成されている

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		273,892	83,698	103,229	114,270	117,841	129,032	124,032
事業費		244,290	53,788	71,768	82,809	86,380	97,571	92,571
国庫支出金		160,560	0	0	0	0	5,000	0
県支出金		0	0	0	5,000	5,000	5,000	5,000
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		10,527	1,722	1,828	1,828	1,828	1,828	1,828
一般財源		73,203	52,066	69,940	75,981	79,552	85,743	85,743
人件費計		29,602	29,910	31,461	31,461	31,461	31,461	31,461
事務・技術(人)		3.61	3.70	3.89	3.89	3.89	3.89	3.89
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.00	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0282  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1801 建設部地域交通政策課  
 事務事業番号 00897 公共輸送対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-10-00	公共輸送対策推進費	都市計画部都市計画課
01-40-10-15-50-00-10-00	公共輸送対策推進費	建設部地域交通政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 公共交通維持・活性化に係る事業の実施数	事業	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		5.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 1日あたりの地域公共交通全体の利用者数	人/日	345,000.00	345,000.00	345,000.00	345,000.00	345,000.00	345,000.00	345,000.00
		203,067.00	209,455.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	地域公共交通活性化再生法に基づき、市が実施主体となっている。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	活動指標は目標達成したが、成果指標は達成できなかった。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	地域住民・交通事業者との協働で、効率的な事業推進ができています。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	デマンド型乗合タクシー等により一定の移動手段が確保できている。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	令和3年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、各種施策の進捗状況を確認しつつ、地域住民、交通事業者、行政が相互に連携して既存公共交通の維持を図るとともに、新たな輸送サービスを積極的に導入することにより、地域公共交通ネットワークを再構築する。また、新型コロナウイルス感染症の影響により減便や廃止が相次いでいる現状を鑑み、事業の拡充・重点化を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の影響で減便や廃止がより一層加速していることから、令和3年3月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき、既存の公共交通を維持するための支援の充実及び路線バスが廃止されるなど移動手段が損なわれる恐れがある地域公共交通課題地域におけるデマンド型乗合タクシー等の新たな移動手段の確保に向けた地域住民・交通事業者との協働の取り組みについては、事業の拡充・重点化を進めること。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1801 建設部地域交通政策課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00897 公共輸送対策推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)公共交通維持・活性化に係る事業の実施数	事業	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	5.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		今年度における公共交通維持・活性化に係る活性化協議会の実施する事業数						
(成果)1日あたりの地域公共交通全体の利用者数	人/日	345,000.00	345,000.00	345,000.00	345,000.00	345,000.00	345,000.00	345,000.00
	指標説明	203,067.00	209,455.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		大津市内における1日あたりのJR・京阪電車・路線バスの利用者数（R2及びR3は京阪電車が未調査）						

# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0283  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1801 建設部地域交通政策課  
 事務事業番号 01924 人にやさしいバス導入促進事業

所属長名 高木 悟  
 記入者 田中 仁史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	026	交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001	地域公共交通ネットワークの維持・確保				
事務事業	003	人にやさしいバス導入促進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律				
事業概要	(事業概要) バス事業者等がノンステップバスを導入する際に費用の一部を補助することにより、その導入を促進し、高齢者、障害者等の移動の利便性や安全性の向上を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国が示す基本方針に準じて令和3年度末におけるノンステップバスの目標導入率を70%に設定しているが、厳しい経営状況にあるバス事業者にとって計画的な車両導入は難しく、依然として低調な導入率に止まっている。 (見直しや改善等の経過) 滋賀県からの補助は平成20年度に廃止されたままであるが、事業者による導入を促すため、県補助制度の再開について要望している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	バス事業者等に対して
目的(何のために)	高齢者や障害者等が自立した日常生活、社会生活を営むため
手段(どのようなやり方で)	ノンステップバス車両の導入経費に対する補助を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	ノンステップバスが普及し、高齢者、障害者等の乗降時の負担が軽減され、利便性が向上する

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,804	1,760	1,760	2,360	2,360	2,360	2,360
事業費	0	800	800	1,400	1,400	1,400	1,400
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	800	800	1,400	1,400	1,400	1,400
人件費計	1,804	960	960	960	960	960	960
事務・技術(人)	0.22	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート (2/2)

整理番号 0283  
評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
所属 1801 建設部地域交通政策課  
事務事業番号 01924 人にやさしいバス導入促進事業

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)ノンステップバス導入補助台数	台	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)低床バス導入率(累計)	%	69.00	71.00	82.00	82.00	82.00	82.00	82.00
		0.00	81.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

### 【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価				
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A				
		B ほぼ妥当である					
		C あまり妥当ではない					
		D 妥当ではない					
評価理由	バリアフリー法に基づき、市が実施主体となっている。						
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B				
		B やや上がっている					
		C あまり上がっていない					
		D 上がっていない					
評価理由	活動指標は達成できなかったが、成果指標は達成できた。						
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B				
		B やや効率的である					
		C あまり効率的でない					
		D 効率的でない					
評価理由	小規模な予算で着実にノンステップバスの導入が進んでいる。						
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B				
		B やや貢献している					
		C あまり貢献していない					
		D 貢献していない					
評価理由	徐々にではあるが、着実にノンステップバスの導入が進んでいる。						
評価理由							

### 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	国が定める基本方針では「令和7年度までに乗合バス車両におけるノンステップバスの割合を80%にする」となっているため、本市としても、更なる導入率向上を目指す。また、県に対する補助制度の再開を働きかけていく。		

### 【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	国が定める基本方針の目標達成に向け、事業を継続的に進めるとともに、県に対して補助制度の新設・再開を要望すること。また、路線バス事業者のバス事業の健全性を保つことが重要であるため、現在ある路線バスの存続に向けた効果的な取り組みについて、事業者とよく協議すること。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
所属 1801 建設部地域交通政策課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 01924 人にやさしいバス導入促進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)ノンステップバス導入補助台数	台	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		当年度にノンステップバス導入の補助を行った台数						
(成果)低床バス導入率(累計)	%	69.00	71.00	82.00	82.00	82.00	82.00	82.00
		0.00	81.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		低床バス、リフト付バス車両台数／全バス車両台数						

# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0284  
評価年度 令和 3年度  
所属 1801  
事務事業番号 04163

進捗区分 評価完了  
建設部地域交通政策課  
道路安全施設整備事業

所属長名 高木 悟  
記入者 田中 仁史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	026	交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001	地域公共交通ネットワークの維持・確保				
事務事業	031	道路安全施設整備事業				
新規継続区分	新規					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	ビワイチ推進条例、ビワイチ推進総合ビジョン				
事業概要	滋賀県のビワイチ推進総合ビジョン及びビワイチ推進条例等に基づき、必要な自転車走行環境整備を実施するもの				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>（事業を取りまく社会環境）</p> <p>平成30年3月に滋賀県においてビワイチ推進総合ビジョンが策定され、滋賀県が中心となり関連自治体との連携のもと、ビワイチの走行環境整備と利用促進が図られてきたが、令和元年11月7日付でビワイチが「ナショナルサイクルルート」に指定を受け、さらに、令和4年3月に滋賀県において議員提案によりビワイチ推進条例が制定されたことから、県市連携のもと、なお一層の走行環境整備と利用促進が求められる状況となっている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	ビワイチ等自転車利用者に対して
目的(何のために)	安全で、安心して、快適にビワイチが楽しめるようにするため
手段(どのようなやり方で)	走行環境を整備することで
成果(どのような状態にするのか)	市外からの利用者も増加させ、市内観光振興や、地域活性化を促進させる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	6,974	9,120	9,120	3,620	3,620	3,620
事業費	0	5,854	8,000	8,000	2,500	2,500	2,500
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	2,840	0	0	0	0
一般財源	0	5,854	5,160	8,000	2,500	2,500	2,500
人件費計	0	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120
事務・技術(人)	0.00	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0284  
評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
所属 1801 建設部地域交通政策課  
事務事業番号 04163 道路安全施設整備事業

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)道路安全施設整備施工延長	km	0.00	7.00	13.00	15.00	18.00	20.00	22.00
		0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)整備率(累計)	%	0.00	29.00	54.00	63.00	75.00	83.00	92.00
		0.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		評価	
評価項目							
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A		
			B	ほぼ妥当である			
		C	あまり妥当ではない				
		D	妥当ではない				
	評価理由		ピワイチ推進条例に基づき、市は連携協力することとなっている				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A		
			B	やや上がっている			
		C	あまり上がっていない				
		D	上がっていない				
	評価理由		令和3年度は、目標1個所に対して、1個所整備した				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B		
			B	やや効率的である			
		C	あまり効率的でない				
		D	効率的でない				
	評価理由		国の財源活用も検討し、さらなる効率化に努める				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A		
			B	やや貢献している			
		C	あまり貢献していない				
		D	貢献していない				
	評価理由		ピワイチ等自転車利用者の安全・安心につながっている				
	評価理由						

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	ピワイチ推進条例に基づき、まずは、市道等における青矢羽根や案内看板等による自転車走行環境整備を着実に推進していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ナショナルサイクルルートに関する国の整備状況確認に向け、今年度中の走行環境整備の概成を目指して計画通り事業を進めること。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1801 建設部地域交通政策課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 04163 道路安全施設整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 道路安全施設整備施工延長	km	0.00	7.00	13.00	15.00	18.00	20.00	22.00
	指標説明	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		道路安全施設整備施工延長した距離						
(成果) 整備率(累計)	%	0.00	29.00	54.00	63.00	75.00	83.00	92.00
	指標説明	0.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		道路安全施設整備の整備率						

# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0285  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1804  
 事務事業番号 00951

進捗区分 評価完了  
 建設部道路・河川管理課  
 交通バリアフリー推進事業

所属長名 馬場 靖  
 記入者 南 康浩

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	003	障害者に配慮したバリアフリー化の推進				
事務事業	002	交通バリアフリー推進事業				
新規継続区分	新規					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	道路法、バリアフリー法				
事業概要	(事業概要) バリアフリー法に基づき、JR大津駅～京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所駅周辺が重点整備地区に指定されており、この地区において安全な交通環境を整備すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者、障がい者の社会参加機会が増すとともに、官民に関わらず、建築物のバリアフリーが進んでおり、道路等の公共空間におけるバリアフリー化を更に拡大させる必要がある。 (見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想に基づいた重点地区のなかで、市民、利用者の要望を踏まえた施工箇所の優先順位等を見直してきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	高齢者、身体障害者、その他の歩行者及び自転車
目的(何のために)	歩道の安全かつ円滑な通行を確保
手段(どのようなやり方で)	歩道の段差の解消、勾配修正をするため、補修工事を実施
成果(どのような状態にするのか)	誰もが利用しやすい歩道空間

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	11,904	26,310	33,310	33,310	23,310	23,310
事業費	0	3,594	18,000	25,000	25,000	15,000	15,000
国庫支出金	0	1,169	9,900	13,750	13,750	8,250	8,250
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	2,163	7,200	10,100	10,100	6,000	6,000
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	262	900	1,150	1,150	750	750
人件費計	0	8,310	8,310	8,310	8,310	8,310	8,310
事務・技術(人)	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0285  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1804 建設部道路・河川管理課  
 事務事業番号 00951 交通バリアフリー推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-20-00	人にやさしい道づくり事業費	建設部道路・河川管理課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 工事施工延長 13.000m	m	200.00 0.00	660.00 55.00	580.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	
(成果) 整備率	%	32.00 31.00	36.00 31.40	35.90 0.00	37.40 0.00	38.90 0.00	40.50 0.00	42.00 0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	大津市バリアフリー基本構想に基づく駅周辺の重点地区の整備。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業の進捗が国から交付される交付金に左右される。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	事業費の範囲内で経済的な施工を行った。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	計画に対する進捗率は不十分であるが、整備済延長は伸長した。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	自らの意思で移動したいとする市民意識は一層高まっており、これに応じた事業継続は欠かせない。さらに国民スポーツ大会の開催を控え、令和3年度から令和5年度においては、重点整備地区と重複している膳所駅周辺地区の関係路線の優先的整備に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	市民意識調査において、この事業の積極的な推進を求める意見が見られること、現在の移動環境に物足りなさを感じる市民志向は重要視する必要があることから、当事者及び当事者団体など通じて必要な対策を絞込むなどをして、迅速な対応を心掛けること。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1804 建設部道路・河川管理課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00951 交通バリアフリー推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)工事施工延長 13,000m	m	200.00	660.00	580.00	200.00	200.00	200.00	200.00
	指標説明	0.00	55.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		完工延長 4,084m						
(成果)整備率	%	32.00	36.00	35.90	37.40	38.90	40.50	42.00
	指標説明	31.00	31.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		完工延長4,084m(累計) / 全体計画延長13,000m						

# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0286  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1804 建設部道路・河川管理課  
 事務事業番号 02207 道路照明灯LED化推進事業

所属長名 馬場 靖  
 記入者 長谷川 剛大

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009 安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022 防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	001 防犯活動の強化				
事務事業	003 道路照明灯LED化推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象		主な取組区分		対象外
根拠法令等	道路法 道路構造令				
事業概要	(事業概要) 既存市街灯・防犯灯を省エネ、省メンテナンスで環境にやさしいLED器具へ移行する。このことにより、街灯の不点灯修繕経費や電気料金が削減できるとともに、消費電力量やCO2の削減など、環境負荷軽減にも繋がる。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市道上における夜間交通の安全確保に加え、市民の防犯意識の高まりから市街灯の設置要望が増加している。地方自治体の財政状況が厳しくなり、様々な経費について適正化に努める必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成23年度11月以降、市街灯・防犯灯のうち、蛍光灯で維持管理しているものを中心に、老朽化した照明器具から順次LED照明器具に計画的に取り替えており、令和4年度で完了するため、令和5年度より10年計画で水銀灯約3000基のLED化を順次進めていく予定である。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	既存の蛍光灯24,000基
目的(何のために)	街灯の省エネ、少メンテナンスによる環境負荷軽減
手段(どのようなやり方で)	10年計画で省エネかつ長寿命なLED器具への移行
成果(どのような状態にするのか)	修繕費や消費電力を削減し、夜間の交通安全や防犯向上へ貢献

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	54,089	52,894	52,900	52,900	52,900	52,900	52,900
事業費	46,181	44,994	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	46,181	44,994	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
人件費計	7,908	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900
事務・技術(人)	0.59	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0286  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1804 建設部道路・河川管理課  
 事務事業番号 02207 道路照明灯LED化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-10-29-00-16-00	道路照明灯LED化推進事業費	建設部道路建設課
01-40-10-10-29-00-16-00	道路照明灯LED化推進事業費	建設部道路・河川管理課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値						下段：実績値	
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) LED器具取替件数	件	2,200.00	2,200.00	1,855.00	300.00	300.00	300.00	300.00	
		2,262.00	2,211.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) LED器具取替件数目標達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		103.00	100.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	事業開始当初、約24,000基の蛍光灯を計画的にLED器具に更新することとし、令和4年度にすべて完了する見通しとなってきた。 また、令和5年度以降、現状の事業規模を維持しながら10年計画による水銀灯のLED化を順次進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	持続可能な社会の実現を見据え、消費電力の削減に取り組むことは国際社会において欠かせないことであり、引き続き灯具の更新を推進することとする。市街灯約24,000基の蛍光灯からLED器具に更新しており、令和4年度にすべて完了する見通しとなってきた。 令和5年度以降、現状の事業規模を維持しながら10年計画による水銀灯のLED化を推進していく。		

# 事務事業評価指標一覽

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1804 建設部道路・河川管理課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02207 道路照明灯LED化推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)LED器具取替件数	件	2,200.00	2,200.00	1,855.00	300.00	300.00	300.00	300.00
	指標説明	2,262.00	2,211.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)LED器具取替件数目標達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	103.00	100.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	目標値／実績値						



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0287  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1814 建設部建築課  
 事務事業番号 02369 公共施設適正管理推進事業

所属長名 山本 幸司  
 記入者 吉川 博之

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	034	公共施設マネジメントの推進				
取組の方向性	001	公共施設等の適正化				
事務事業	002	公共施設適正管理推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	建築基準法					
事業概要	(事業概要) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要の高まりにより、多くの公共施設を保有することとなった。それらの施設が、今後数十年の間に一斉に老朽化の時期を迎える。今後、限られた財源の中、保有する施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況の把握や情報を基にした施設所管課への技術的支援を行う。また、公共施設を計画的かつ効果的に長寿命化していくことを目的に施設保全の仕組みを構築する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきたが、今後、多くの施設が数十年の間に一斉に老朽化し大きな財政負担となる。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末活用による点検情報の集約により、改善の優先順位を整理しており、平成30年度には法不適合箇所の改善の予算措置の支援を行った。今後、いっそうの情報活用による効果的な投資に繋げていく					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	建築基準法で規定された200㎡を超える特定建築物及び防火設備を有する施設について
目的(何のために)	限られた財源の中で、市が保有する公共施設を適正かつ安全に維持保全し、市民に安心して施設を利用してもらうために
手段(どのようなやり方で)	施設情報を集約した施設台帳（電子カルテ）を活用し、建築、建築設備及び防火設備の定期点検を実施するとともに、施設管理者等に施設安全管理に係る情報の提供を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	施設の安全性、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減につなげる

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	42,598	19,813	33,717	36,165	34,038	34,038	34,038
事業費	1,372	1,629	1,533	3,981	1,854	1,854	1,854
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,372	1,629	1,533	3,981	1,854	1,854	1,854
人件費計	41,226	18,184	32,184	32,184	32,184	32,184	32,184
事務・技術(人)	3.35	1.25	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	3.52	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0287  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1814 建設部建築課  
 事務事業番号 02369 公共施設適正管理推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-03-60-00-10-00	公共施設適正管理推進事業費	建設部建築課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)市有施設の定期点検の実施	点検施設数	349.00	306.00	287.00	287.00	287.00	287.00	287.00
		349.00	287.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)防火設備点検の実施	点検施設数	118.00	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00
		118.00	117.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)施設点検結果の蓄積及び通知	実施率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)施設点検結果を活用した新たな施設保全の仕組みの構築	進捗率 (%)	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		90.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	公共施設の適正管理の視点から法定点検以外の施設情報も蓄積活用		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	点検情報の蓄積により施設状態の変化や修繕優先度を随時把握		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	不良部位の情報、指摘箇所を情報端末により可視化し効率的に運用		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	施設所管課への幅広い技術支援により施設の効率的な管理を推進		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	今後の公共施設のあり方については、国の方針においても実現が難しい総量削減から、既存施設の長寿命化に推進に方策がシフトしている。このことから、本市においても保有する公共施設も同様に限られた資源で有効に活用していく必要がある。その実現に向けて、これまでの蓄えられた施設情報をもとに、施設所管課との連携を深めた幅広い支援体制の構築が持続可能な施設運営とコスト削減につながると考えることから今後も引き続き同事業の取り組みを推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	施設の適正な点検を継続し、点検結果に従い修繕等の要請を施設所管課に対して行うとともに、必要な積極的技術支援に努めること。また、新しい維持管理技術や保全事業手法についての研鑽を重ね、営繕業務と連携を深めた施設の効率的かつ適正な管理に努めること。		

